

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 5月 9日

事業所名 colors plus

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・活動によって物の配置(テーブルの移動、マットの設置など)やスペースなど職員間で話し合い、児童が安全に過ごせるよう配慮しています。	
	2	職員の配置数は適切である	5		・適切な配置数です。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・絵カードで活動の流れをイラストや文字で表示することで見える化、分かりやすい環境設定を行っています。手洗い場の踏み台、トイレには子供用便座を用意しています。	・車椅子、身体介助の必要な児童が現在いないため、トイレの介助等も無いが、今後必要か検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・毎日の換気、1日の最後には室内全体を清掃、アルコール消毒しています。また、学習の際は別室で集中して取り組めるよう配慮しています。 ・帰りの会終了後に児童達も一緒に清掃を行い、物の大切さや共有で使う物の大事さも伝えている。 ・学習スペース、集団活動を行うスペースと分けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	・日々支援について振り返りを行い、業務改善に努めています。集団活動においても職員がPDCAシートを作成し取り組んでいる。またファイリングで確認も行う。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・アンケート実施後、管理者から報告を受け、改善に取り組んでいます。	・今回の評価も業務改善に役立てていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			・ホームページに公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・今後、必要に応じて実施を検討する。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・会社の勉強会や各事業所の事例検討会など行っております。事業所外の研修会にも参加する機会もあり、充実しています。	・コロナ禍で思うような活動が出来ていない事は事実です。その中でも各事業所の情報共有や事業所外のリモート研修など参加することが出来ている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・面談を通してニーズを聞き取りしています。その後、職員間で共有させて頂き、提案をしています。 ・体験時に行動観察を行い、利用決定後に確認の上、特性を考慮している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		・えいぶるを活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・アセスメントシートを基に全職員で会議を重ねた上で計画作成を行っている。 ・保護者からの相談があった場合、時間を設け、保護者がゆっくり話せる環境を作っている。	・地域支援は現在行っていない状況。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・1人1人の計画書を確認し、支援内容を話し合い、支援を行っています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・職員で意見を出し合い、様々な活動プログラムを立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・成長に合わせ、会議で課題について話し合い、月の行事や季節に合わせたプログラムを組んでいる。また、利用する児童に必要な支援内容を組み込んだ活動を取り入れるようにしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		・職員全体で意見を出し合い、作成を行っている。個別で取り組める課題を集団活動にも取り入れることで、集団内においても出来た！と本人の自信に繋がるよう支援を行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・職員全体で月の活動プログラムを組み、それに対して活動の準備を行う。支援配置は当日の児童の様子を見て行っている。朝礼や終礼において各準備の進み具合や再確認等を行う。 ・活動時や学校、家庭での環境の変化で児童の様子が変わった等あった際に共有している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・帰りの送迎後、職員が揃ってから1日の振り返りを行い、反省や今後注意していく事などを報告、共有する時間を持っています。当日できなかった場合は翌日の朝礼で確認を行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・個別支援計画に沿って個別活動や1日の様子を正しく細かく記録を取るようし、職員間の情報共有やモニタリング資料、日々の支援の改善に生かしています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・個別支援会議を定期的に行い、児童の状況を確認、見直しを行っています。	
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・児童発達支援管理責任者が参加している。場合に応じてはその児童と関わりが深い、信頼関係が築けている職員にも一緒に参加してもらうようにしています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	・相談員への報告。定期モニタ時やLINE、連絡帳等で保護者様の様子を確認し支援している。 ・相談支援事業所や幼稚園等と連携を取って支援を行っています。問題があれば会議開催を行う。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当者なし。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・該当者なし。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・担当者会議等を行う。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者との連携関係機関や保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・相談員、保護者様の意見を聴き、必要であれば学校側の参加もお願いし、会議に参加している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	定期的受診、検査等があった際、児童の適性な支援等の情報を保護者を通しお願いしている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4		・障害のない子どもたちとの交流は少ないと感じる。コロナ禍でまだ難しい状況ではあるが、今後、児童館などでの活動も取り入れていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・送迎時にデイサービスでの活動の様子や児童の発達状況や課題について伝え合っています。連絡帳の活用、内容によってはお電話でお伝えすることもあります。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	・それぞれに合った関わり方やヒットしそうな促し方のアドバイス等はその都度させていただいております。その後、実践をして『上手くいっています。』とご報告いただくこともありました。 ・子育てや家庭環境等で保護者から相談がある際に時間を設けている。	・今後、少人数での保護者会を予定。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・ご契約時に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	・送迎時やお電話等でご家庭の様子をお聞きしたり、保護者の気持ちに寄り添えるような対応を心掛けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		・以前より予定をしているが、コロナ禍で大変難しい状況。今後、保護者へご意見をいただきながら開催を検討する。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・保護者、お子さんからの相談や申し入れについては、すぐに上司に伝えるようにし、その都度、職員と話し合いを行い、対応させていただいております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・毎月の会報の発行や連絡帳でのやりとり、また、送迎時に行事や活動内容についてお伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・保管場所を決め、外部に持ち出さないよう十分に注意し取り扱っています。	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・1人1人の特性を理解し、話しやすい環境を作る配慮をしています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		・地域との関わりを以前から考えていますが、コロナ禍の中でなかなか招待することが出来ていない状況です。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	・それぞれのマニュアル作成しております。	・今後も訓練をしっかりと行う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・まず、職員のみで訓練を行い、避難場所や訓練の手順を確認後、児童も含めた全体訓練を行っている。 ・避難場所の確認を職員で振り返りを行っている。	・年間スケジュールに組み込み訓練を行っている。ハザードマップの確認を職員、児童含め行っていく。他の事業所と合同訓練を行うこともある。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・面談時、アセスメントで確認、職員間で共有しています。 ・主治医からの指示書、発作時の対応を支援者全員で共有、確認を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		・アレルギー等の情報を保護者より聞き取りを行い、対応しております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・ヒヤリハット事例集を作成し、事例があった時には記入し、朝のミーティングや業務後の振り返り等で全職員で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・各事業所での虐待防止の勉強会や、事業所合同の勉強会を開催しています。勉強会後はレポートの提出。虐待防止・権利擁護の研修にも積極的に参加しています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		・身体拘束を行う様な状況にまでパニック等のある児童は現在在籍しておりませんが、契約時に保護者様へ説明を行っています。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。